

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	安全安心おかやま生活と水の環境整備計画（重点計画）												
計画の期間	平成29年度～平成31年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	岡山市												
計画の目標	下水道の整備により、公衆衛生を向上させ快適な生活環境を創出し、旭川等の河川や児島湖及び児島湾の水質保全に寄与し、水と緑が魅せる心豊かな安全安心な生活環境の創造を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	4,568	A	4,568	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標）	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H29当初）	（H30末）	（H31末）
1	下水道処理人口普及率を66%（H29）から70%（H31）に増加 下水道の利用できる人口の総人口に対する割合 下水道処理人口普及率（%）=（処理区域内人口（人））÷（住民基本台帳人口（人））×100	66%	68%	70%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
普及率については、他事業分も含んだものとする														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H29	H30	H31	R02	R03					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	岡山市	直接	岡山市	管渠(汚水)	新設	下水道整備推進重点化事業(児島湖流域関連処理区)	污水管整備 整備面積(65 ~ 600) 118ha	岡山市						2,425		-		
	A07-002	下水道	一般	岡山市	直接	岡山市	管渠(汚水)	新設	下水道整備推進重点化事業(岡東処理区)	污水管整備 整備面積(150 ~ 600) 142ha	岡山市							1,580		-	
	A07-003	下水道	一般	岡山市	直接	岡山市	管渠(汚水)	新設	通常の下水道事業(児島湖流域関連処理区)	PPP/PFIを活用した包括的民間委託の検討	岡山市							0		-	
	A07-004	下水道	一般	岡山市	直接	岡山市	管渠(汚水)	新設	通常の下水道事業(芳賀佐山処理区、流通団地処理区)	統廃合接続管渠整備(200 ~ 400) L=0.7km	岡山市							362		-	
	A07-005	下水道	一般	岡山市	直接	岡山市	ポンプ場	新設	通常の下水道事業(芳賀佐山ポンプ場)	統廃合に要する污水ポンプ設備新設 一式	岡山市							162		-	
	A07-006	下水道	一般	岡山市	直接	岡山市	ポンプ場	新設	通常の下水道事業(岡東処理区)	桑野ポンプ場 污水ポンプ設備実施設計	岡山市							0		-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	岡山市	直接	岡山市	終末処理場	新設	通常の下水道事業(岡東処理区)	岡東浄化センター 機械濃縮設備 一式	岡山市						39	-	
	A07-008	下水道	一般	岡山市	直接	岡山市	ポンプ場	新設	下水道整備推進重点化事業(牟佐ポンプ場)	牟佐ポンプ場 土質調査	岡山市						0	-	
												小計						4,568	
												合計						4,568	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
岡山市において当該社会資本整備計画関係課により事後評価を実施し、学識経験者等の第三者から構成される審議会より意見聴取を実施	令和5年1月
	公表の方法
	岡山市HPに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児島湖流域関連処理区及び岡東処理区の面整備を行った結果、下水道を利用できる地区が広がり、下水道の普及が促進された（児島湖流域関連処理区 約90ha、岡東処理区 約103ha） ・ 岡東浄化センターの機械濃縮設備設置により、処理場の汚水処理能力が向上し、未普及地区の汚水受け入れが可能となった（汚泥濃縮能力 180kg/時）
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芳賀佐山処理区及び流通団地処理区の統廃合接続管渠の整備や、芳賀佐山ポンプ場の整備により、同処理区の処理場（芳賀佐山浄化センター及び流通団地浄化センター）が廃止され、児島湖流域関連処理区に統合された。これにより、効率的な汚水処理が可能となった
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も市街化区域の下水道管渠の面整備を進め、下水道の普及促進を行う ・ 事業計画区域内で下水道整備未着手の地区について、下水道管きよの整備に取り組んでいく ・ 処理場への汚水流入量を見ながら、適切な時期に処理場の汚水処理能力向上を行う 	

